

2018年9月期 第1四半期 決算説明会 質疑応答の要旨

2018年2月1日に開催した第1四半期決算説明会（機関投資家・アナリスト・報道関係者向け）における主な質疑応答の要旨は下記の通りとなります。

Q 1. ネットマーケティング事業の海外収益における地域別内訳について

A 1. 中国・韓国・東南アジアを中心に海外収益は順調に推移している。各地域の構成比が極端に変動しているということはない。

Q 2. ネットマーケティング事業における収益に対する売上総利益率の変動について

A 2. クリエイティブに関わる人件費がIFRS上の原価として計上されるため、その人員数が増加していることが、この売上総利益率の変動要因である。一方、対売上高収益比率は前年同期18.6%から20.4%へ上昇しており、クリエイティブへの投資によって収益が拡大している。クリエイティブに対する投資がお客様への高い付加価値に繋がり、結果としてより高い収益性が得られるものと考えている。

Q 3. メディアコンテンツ事業におけるGANMA!の月間PV数の変動要因について

A 3. 要因は2つある。1点目は、外部著作権作品を取り入れたことによる一時的なPV押し上げに対する反動があったこと。2点目は、昨年実施したプロモーションによりDLを大きく伸ばし、メディア規模の拡大を図ることができたものの、一部プロモーションの訴求方法により、ユーザの定着につながらないケースもあった。ユーザの継続率をより高めることができるよう、当四半期ではプロモーションの質を変更した結果、継続率は改善し、ユーザ1人当たりPVやMAU、WAUも上昇してきている。

Q 4. GANMA!におけるブランド広告主からの引き合い状況について

A 4. GANMA!のマンガ作品とお客様のブランドがコラボするような広告事例が多く、商談数、受注数は順調に増加している。新規のお客様とリピートのお客様のミックスがあり顧客基盤に厚みが出てきている状況である。

Q 5. GANMA!のアプリ収益が前四半期比で減少した理由について

A 5. 前四半期は外部著作権作品の取り込みによる一時的な PV の押し上げが収益に繋がっていた。また、ブランド広告主様の季節性要因によって 7-9 月はプロモーションが集中していたため、当四半期においてはこれに対する変動が多少あったと認識している。トップラインは今後も変動していくことが想定されるが、モメンタムとしては次の四半期に向けてポジティブに推移していると捉えている。

Q 6. GANMA!のコンテンツにおけるリッチ化に係るコストについて

A 6. 新たな取り組みの一つである、アプリ内で配信しているショートアニメについては製作プロセスの大半を内製化しており、これによってコストが大きく膨らむことはない。

Q 7. 人事制度改定による人件費上昇の影響、及び今後 1 年の人員増について

A 7. 当四半期から人事制度を改定しているが、次の 2 Qにおいては中途採用のペースがアップするため、人件費は 2 Qにかけてもう少し上昇していく予定である。中途社員の採用ニーズは高く、人員数は変動すると見ている。また、3 Qにおいては前年の規模と同じ程度、新卒社員の入社を予定していること等、一定の季節性はあるが、従業員数の増加トレンドは前年と比較して大きく変わるものではない。

以 上